

平和大通りの利活用のための整備イメージ(案)について

5 平和大通りを都心回遊の拠点とするための整備内容

平和大通りの利活用のための整備の方向性を踏まえ、市民はもとより、平和記念公園を訪れる観光客等が、徒歩や自転車等により、平和大通り内を巡り、また、平和大通りから都心部の他の地域資源を巡ることができるよう、その環境づくりに取り組む。

徒歩で快適に移動できる環境づくり

園路の整備（再掲）



- ・慰霊碑や記念碑等をつなぎながら、通り全体をつなぐ園路を整備する。
- ・園路は、凹凸や歩道との段差の解消など、バリアフリーやユニバーサルデザイン等に配慮し、誰もが散策しやすいものとする。
- ・散策のアクセントとして、園路に沿って、質の高い花壇やデザイン性の優れたベンチ等を設置する。
- ・利用者の利便性の向上を図るため、景観に配慮したトイレを設置するとともに、夜間も安心して散策できるよう、園路等の照明設備を充実する。

案内サインの充実



- ・市民や観光客等がスムーズに回遊できるよう、既存の案内サインを統一化・集約化・多言語化しながら、より分かりやすいものと更新する。
- ・案内サインは、デザイン性に優れたものとし、目的地までの距離表示を行うなど、案内表示の充実を図る。
- ・都心案内図や周辺案内図、公園案内図、平和大通りの主な施設、都心部の他の地域資源等の紹介を行い、より詳しい情報はQRコードでアクセスできるものとする。

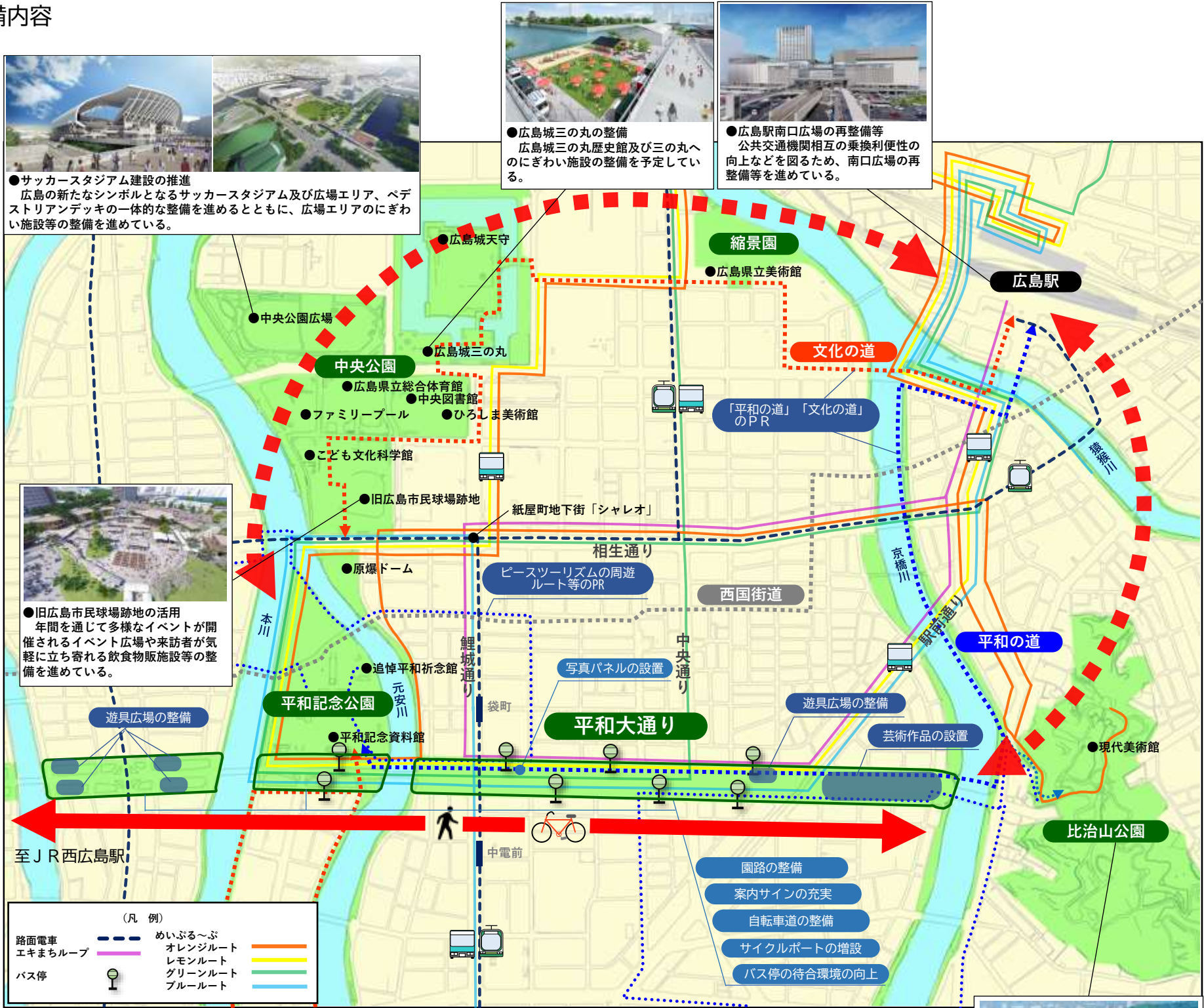
（無料公衆無線LAN環境の整備）

- ・市民や観光客等がスマートフォンやタブレット端末等を通じて、その場で平和大通りや都心部の他の地域資源等に関する情報を入手できるよう、案内サインの更新に合わせて、無料公衆無線LAN環境を整備する。

写真パネルの設置



- ・愛宕池付近に平和大通りの歴史（被爆前から復興まで）や平和大通りの主な施設（慰霊碑・記念碑・石燈籠・被爆樹木・供木等）、平和大橋・西平和大橋の欄干を設計した彫刻家イサム・ノグチ氏、ピースツーリズムの推奨コース、「平和の道」「文化の道」、都心部の他の地域資源等を紹介する写真パネルを設置する。あわせて、交流広場等で行われるイベントを紹介する。



自転車で快適に移動できる環境づくり



- ・歩行者と自転車が共に安全で快適に通行できるよう、南北両側に双方向の自転車道を整備する。自転車道の整備に当たっては、連続性を重視した自転車ネットワークの形成や樹木への影響に配慮する。
- ・市民や観光客等が自転車で平和大通り内や都心部の他の地域資源を快適に巡ることができるよう、案内サインの設置場所を考慮しながら、サイクルポートを増設する。

公共交通で快適に移動できる環境づくり



- ・公共交通での移動がしやすくなるよう、案内サインに、平和大通りを運行するバスや路面電車に関する情報（バス停や電停の位置等）を表示し、QRコードで詳しい情報（時刻表や乗り場案内等）にアクセスできるようにする。
- ・バス停の待合環境の向上を図るため、公園内にもベンチ等を設置する。



●比治山公園「平和の丘」構想の推進
「国際平和文化都市として復興した広島」の「今」を実感できる新たな拠点」とするための再整備を進めている。

回遊を促す仕掛けづくり

平和記念公園や比治山公園とのつながりを考慮した施設整備



- ・原爆ドームから灯和の径、平和大橋を経由して、平和大通りまで連なる光の演出を行う。
- ・比治山公園とのつながりを考慮し、芸術作品を設置する。（再掲）
- ・各遊具広場を回遊して楽しめるよう、広場ごとにテーマ性のある遊具を設置する。（再掲）

ピースツーリズムの周遊ルート等のPR



- ・ピースツーリズムでは、平和記念公園や広島駅を起点とした平和関連施設等のモデルコースやスポットを紹介している。
- ・ピースツーリズムの取組の中で、平和大通りに所在する被爆樹木や推奨周遊ルート等を情報発信する。

「平和の道」「文化の道」のPR

- ・「平和の道」「文化の道」は、平和記念施設に観光客を誘引し、ヒロシマの心を世界に広める一助とするために設定されたもので、ルート上に埋め込みサインを設置している。
- ・「平和の道」「文化の道」を知ってもらい、徒歩や自転車で巡ってもらえるよう、案内サインやパンフレット等で情報発信する。

パンフレットの作成

- ・平和大通りを分かりやすく紹介するパンフレットを作成し、沿道地域のホテルや店舗等で配布する。

（掲載する内容のイメージ）

- ・平和大通りの歴史や主な施設の紹介
- ・ピースツーリズムの推奨コースや「平和の道」「文化の道」等の紹介
- ・都心部の他の地域資源の紹介
- ・アクセス情報（路面電車やバスの路線図・乗り場案内等）等